

## 第 20 回アジア競技大会エンブレム選定委員会

## ●選定委員長



ひろむら まさあき

廣村 正彰 廣村デザイン事務所代表／グラフィックデザイナー

1954年愛知県安城市出身。田中一光デザイン室を経て、1988年廣村デザイン事務所設立。多摩美術大学客員教授、金沢美術工芸大学客員教授、名古屋造形大学客員教授、一般社団法人ジャパンクリエイティブ代表理事。主な仕事に、日本科学未来館、横須賀美術館、9h ナインアワーズ、すみだ水族館、プライムツリー赤池、名古屋城本丸御殿、そごう・西武、ロフトのアートディレクション、東京2020スポーツピクトグラム開発など。近著『デザインからデザインまで』(ADP) 他。

## ●選定委員（五十音順）



きたがわ けいすけ

北川 啓介 名古屋工業大学大学院工学研究科教授／建築学者

名古屋市出身。1999年ニューヨークの Reiser+Umemoto 建築設計事務所にて建築設計に従事。約20年の国内外での建築設計や建築教育の経験を経て、「家族みんなで安価に一日で建築するインスタントハウス」など、知財をもとにした未来志向の建築や都市を考案し実用化し事業化している。2011年ナゴヤラジオ局長。2017年プリンストン大学客員研究員。2018年から現職。受賞等に、科学技術分野の文部科学大臣表彰（2016）など。



たなか りさ

田中 里沙 事業構想大学院大学学長／宣伝会議取締役副社長

広報・マーケティングの専門雑誌「宣伝会議」編集長、編集室長を歴任の後、新規事業、事業承継、地方創生の研究と人材育成を行う。事業構想大学院大学（2012年文部科学大臣認可・学校法人先端教育機構）の教授を兼任し、2016年より学長に就任。「クールビズ」ネーミング、東京2020エンブレム委員、伊勢志摩サミットロゴマーク選定委員等国や地域の審議会等委員、テレビ情報番組コメンテーターも務める。



もりもと ちえ

森本 千絵 goen° 主宰／コミュニケーションディレクター／アートディレクター

2007年株式会社 goen° を設立。NHK大河ドラマ「江」、朝の連続テレビ小説「てっぺん」のタイトルワーク、「半分、青い。」のポスターデザインをはじめ、Canon、KIRINなどの企業広告、映画や舞台の美術、動物園や保育園の空間ディレクションなど活動は多岐に渡る。2011年サントリー「歌のリレー」でADCグランプリ初受賞。N.Y.ADC賞、ONE SHOW ゴールド、アジア太平洋広告祭ゴールド、SPACESHOWER MVA、50th ACC CM FESTIVAL ベストアートディレクション賞、日経ウーマンオブザイヤー2012 など多数受賞。



やの きよみ

矢野 きよ実 パーソナリティー／書道家

名古屋市大須生まれ。17歳から始めた書で表現する独特の世界観が注目を集め、愛知県美術館へは今年で40年出品を続けている。書道家として霄花（しょうか）の雅号を持ち、これまで数多くの賞を受賞。愛知県警、KIRINビールやANA、テレビ番組やイベントなど数多くの題字を担当。2017年より、名古屋観光文化交流特命大使に就任。ラグビーワールドカップ2019開催都市特別サポーターも務めている。現在、講演、パーソナリティー、被災地支援活動を精力的に行っている。